

令和7年度版
**第五次長野市総合計画
実施計画**
(主要事業計画)

長野市

分野3 人と自然が共生するまち「ながの」(環境分野)

政策1 環境に負荷をかけない持続可能な社会の形成

施策1 脱炭素社会の構築 施策番号19

施策2 循環型社会の実現 施策番号20

政策2 自然と調和した心地よい暮らしづくりの推進

施策1 豊かな自然環境の保全 施策番号21

施策2 良好で快適な環境の保全と創造 施策番号22

分野3 人と自然が共生するまち「ながの」

政策1 環境に負荷をかけない持続可能な社会の形成

施策番号19

施策3-1-1 脱炭素社会の実現		(R7年度事業費 38,713 千円)																																																																																					
【目指す状態】																																																																																							
温室効果ガスの排出削減を意識した日常生活や事業活動が営まれ、排出量が年々減少しているとともに、一定程度上昇する気温の影響など、気候の変化による被害を回避、軽減している。(緩和策+適応策)																																																																																							
【SDGsとの関連】																																																																																							
<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="7">社会</th> <th colspan="4">環境</th> <th colspan="4">経済</th> <th>全体</th> </tr> <tr> <th>貧困</th> <th>飢餓</th> <th>保健</th> <th>教育</th> <th>ジェンダー</th> <th>不平等</th> <th>平和</th> <th>水・衛生</th> <th>エネルギー</th> <th>気候変動</th> <th>海洋資源</th> <th>陸上資源</th> <th>経済成長と雇用</th> <th>イノベーション</th> <th>持続可能な都市</th> <th>生産と消費</th> <th>実施手段</th> </tr> <tr> <td>1</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>4</td> <td>5</td> <td>10</td> <td>16</td> <td>6</td> <td>7</td> <td>13</td> <td>14</td> <td>15</td> <td>8</td> <td>9</td> <td>11</td> <td>12</td> <td>17</td> </tr> <tr> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>○</td> <td></td> <td>○</td> <td>○</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> </thead> </table>				社会							環境				経済				全体	貧困	飢餓	保健	教育	ジェンダー	不平等	平和	水・衛生	エネルギー	気候変動	海洋資源	陸上資源	経済成長と雇用	イノベーション	持続可能な都市	生産と消費	実施手段	1	2	3	4	5	10	16	6	7	13	14	15	8	9	11	12	17																								○		○	○		○		○	○	○	○
社会							環境				経済				全体																																																																								
貧困	飢餓	保健	教育	ジェンダー	不平等	平和	水・衛生	エネルギー	気候変動	海洋資源	陸上資源	経済成長と雇用	イノベーション	持続可能な都市	生産と消費	実施手段																																																																							
1	2	3	4	5	10	16	6	7	13	14	15	8	9	11	12	17																																																																							
						○		○	○		○		○	○	○	○																																																																							
アンケート指標		単位	基準値 (R3)	後期基本計画の実績値					目標値 (R8)																																																																														
				R4	R5	R6	R7	R8																																																																															
環境・体制に関する評価	身のまわりにおいて、太陽光利用や節電、自動車利用を控えるなど、温室効果ガスの発生を抑える取組が日常的に行われている	%	22.9	22.5	22.6	-	-	-	↗																																																																														
環境・体制に関する評価	日常生活において、災害における防災・減災対策や熱中症予防など、温暖化に伴う影響に備えた取組が行われている	%	48.0	34.4	29.0	-	-	-	↗																																																																														
回答者自身の実践状況	太陽光利用や節電、自動車利用を控えるなど、温室効果ガスの発生を抑える暮らしをしている	%	40.2	41.1	42.8	-	-	-	↗																																																																														
回答者自身の実践状況	災害に対する備え(防災グッズ・バザードマップの確認)や熱中症対策など、温暖化の影響への対応を心掛けた暮らしをしている	%	76.0	60.1	59.1	-	-	-	↗																																																																														
統計指標	内容	単位	基準値 (R2)	後期基本計画の実績値					目標値 (R8)																																																																														
				R4	R5	R6	R7	R8																																																																															
温室効果ガス排出量	各種統計資料の電力使用量や自動車登録台数などのデータを用いて算出した市民一人当たりの年間温室効果ガス排出量	kg-co ₂	5,476 (H30)	5,139 (R1)	4,850 (R2)	-	-	-	4,251 以下																																																																														
再生可能エネルギーによる電力自給率(発電設備容量)	発電設備容量(①水力・小水力+②太陽光+③バイオマス) / 最大電力需要量	%	56.4	57.9 (R3)	62.5 (R4)	-	-	-	70.0																																																																														
バイオマス発電量	市内バイオマス発電施設による年間発電量	MWh	65,821	63,782	62,614	-	-	-	84,500																																																																														

【施策番号19 施策3-1-1 主要事業】

事業名	予算額 (前年度予算額) 対前年度増減額	事業内容
<p>【新規】</p> <p>資源プラスチック分別収集事業 (資源プラスチック及び 充電式電池等)</p> <p>[生活環境課 資源再生センター]</p>	<p>156万円</p> <p>(0円)</p> <p>156万円</p>	<p>カーボンニュートラルを実現するために必要不可欠な循環経済への移行を図るため、モデル地区でプラスチック使用製品廃棄物の分別収集及び再商品化を開始し、令和8年度からの全市一斉実施を目指す。また、収集する際に混入することで、火災発生リスクが懸念される充電式電池等の分別収集も併せて開始する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業期間 令和7年度～ ・令和7年度事業内容 プラスチック使用製品廃棄物再商品化委託 充電式電池等処分委託 <p>【分野横断「まち」-イ】</p>
<p>環境基本施策策定事業</p> <p>[環境保全温暖化対策課]</p>	<p>1,041万円</p> <p>【債務負担行為】 令和8年度 1,039万5千円</p> <p>(109万2千円)</p> <p>931万8千円</p>	<p>長野市環境基本条例に基づき、市長の諮問に応じて環境の保全及び創造に関する基本的事項について調査又は審議するほか、環境の保全及び創造に関する基本的事項について意見を述べる長野市環境審議会を運営する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・長野市環境基本計画の改定 ・長野市環境審議会の開催 (3回/年) <p>【分野横断「まち」-イ】</p>
<p>長野市温暖化対策推進補助金</p> <p>[環境保全温暖化対策課]</p>	<p>1,070万円</p> <p>(2,000万円)</p> <p>△930万円</p>	<p>家庭・事業所から排出されるCO2の削減及び停電時の対応力強化に資する機器の導入に対し助成を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対象機器及び補助額 <ul style="list-style-type: none"> ①家庭用蓄電池 5万円 (太陽光発電設備と併せて設置する場合10万円) ②電気自動車等充電設備 (V2H) 6万円 <p>【分野横断「まち」-イ】</p>
<p>電気自動車 (EV) 充電設備設置 モデル事業</p> <p>[環境保全温暖化対策課]</p>	<p>180万6千円</p> <p>(459万8千円)</p> <p>△279万2千円</p>	<p>電気自動車 (EV) をはじめとする次世代自動車及び充電インフラの普及促進を図るため、市有施設へのEV充電器の整備及び維持管理を行う。</p> <p>【分野横断「まち」-イ】</p>